

とびひにかかったら

とびひは、あせも・虫刺され・湿疹などを引っかけた傷、転んでできた傷などに細菌が感染して起こります。鼻孔の入り口にはさまざまな細菌がいるため、鼻くそをほじる癖がある子は、鼻の周囲からとびひが始まったり、その手であせもや虫刺されなどを触ることでとびひになったりします。



軟膏は外から内側に向かって塗りましょう

病変部からの滲出液を広げないように、軟膏は周囲から内側に向かって塗りましょう。

ガーゼで覆うときは、できるだけテープが肌につかないように。救急絆創膏は使わないようにしましょう。

テープや救急絆創膏を貼った周りにとびひが広がりやすいので注意しましょう。手足は包帯でぐるりと巻くのがお勧めです。



シャワー&せっけんで清潔にしましょう

発熱など全身症状がなければ、シャワーを浴びて皮膚を清潔に。病変部は泡立てたせっけんでそっと洗い、よくすすぎます。かさぶたは無理に取る必要はありませんが、除去できるものは洗い流します。兄弟姉妹がいる場合は患児を最後に入浴させます。



病変部を処置すれば 登園・登校しても OK です

病変部を処置してガーゼなどできちんと覆ってあれば、保育園や幼稚園、学校を休む必要はありません。ただし、完全に治るまで(乾燥してかさぶたが取れるまで)プールは禁止です。



とびひを予防するために

皮膚のバリアが弱い子どもは、何回でもとびひにかかります。とびひを予防するためには、手を洗う、爪を短く切って皮膚をかきこわさないようにする、鼻をほじらないようにすることが大切です。

処方された薬が効かないことがあります。医師の指示通りに治療しても症状が改善しない、または悪化する場合は、すぐに再受診しましょう。

Memo